



カードを触ってお待ち下さい。

いわき市議会 議員研修会

「対話する議会・議員」を目指して

～ 「SOUNDカード™」の議会における活用法 ～



2026.05.21.

青森大学 社会学部 教授
佐藤 淳

自己紹介 佐藤淳 57歳



十和田市

Towada City



青森県立青森高等学校

Aomori High School



WASEDA University

早稲田大学



さくら銀行



三井住友銀行



趣味：楽天



早稲田大学大学院 公共経営研究科

The Okumaschool of Public Management, Waseda University



マニフェストを讀んで選挙に行こう。

早稲田大学マニフェスト研究所



青森中央学院大学



- ・ Gallup認定 ストレングスコーチ
- ・ GIALジャパン認定 アクションラーニングコーチ
- ・ レゴ®シリアスプレイ® 修了認定ファシリテーター
- ・ SOUNDコーチ養成講座初級・中級修了

私の研究、実践テーマ

- ✓ 地方自治体の人材開発、組織開発
- ✓ 地方議会改革
- ✓ 市民協働、公民共創のまちづくり

【議会アドバイザー】岩手県滝沢市議会、遠野市議会、矢巾町議会、山形県酒田市議会、宮城県登米市議会、柴田町議会、鹿児島県知名町議会

【議会サポーター】北海道芽室町議会

最近は、全国で
「SOUNDカード™」やりまくり！！



青森市役所 総合計画市民ワークショップ



福島県二本松市議会×高校生

今年1月には 郡山市議会でも

「郡山市議会」について



4月には 相馬市議会でも

「公立相馬病院の経営状況」について



岩手県矢巾町議会「町民と語る議会フォーラム」

議会のあり方・
議員報酬・議員定数



町民と語る 議会フォーラム

対話で育むまちづくりに向けて

**対話する
矢巾町議会**

議会の活動や議会改革の取組をわかりやすく報告します。
特に議員定数や報酬の見直しについて、町民と議員が直接対話することで、開かれた議会の実現を目指します。

令和7年12月13日(土)
午後1時～3時30分(受付12時30分～)
矢巾町公民館3階大研修室

13:00～13:30
1部 議会からの報告
議会活動の現状や、これまでの改革の取り組み、今後の方向性などについて、議員がわかりやすくお話しします。

13:40～15:30
**2部 ワールドカフェ
対話セッション**
進行：青森大学 教授 佐藤 淳 氏
(矢巾町議会アドバイザー)
テーマ：① 矢巾町議会について
② 議員定数と報酬のあり方について

**参加無料/申し込み不要
どなたでも参加できます!**

ワールドカフェとは?
少人数のグループに分かれ、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で語り合うスタイルです。
お互いの意見を聞き合いながら、新しい視点やアイデアを共有します。

お問い合わせ
矢巾町議会事務局 (担当: 吉田・千葉)
TEL: 019-611-2800/2801
E-mail: gikai@town.yahaba.iwate.jp



【 before 】 議会フォーラムの町民の意見

令和7年12月13日開催 矢巾町議会主催「町民と語る議会フォーラム」 参加者のご意見一覧

	議会のあり方	議員報酬	議員定数	その他
1	<ul style="list-style-type: none"> ・町民に開かれた場を作ったことは、ざかいとしての転換点になると思うので、このチャンスを逃さずに、頑張っていたください。 ・町民・町職員のいいところを見つけて声かけをして距離をつめてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さすがに低いので上げて良いと思う。昔の仕組みの名残を残しては変わらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しくないので感覚だが、人口規模に合っているのではないと思う。報酬を増やすために減らすことはない。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の暮らしを考えて欲しい ・老人人口が多くなるので車社会から交通問題を考えて欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員減少により総額を分配するように。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員人数を減らすことが大事。 	
3		<ul style="list-style-type: none"> ・それなりに上げる所まで(予算のできるくらいかな) 	<ul style="list-style-type: none"> ・増やしてもいいです(声が届くから、町内スミズミ→) 	町民の声がほしい TOTAL、いつどこで何を5W1Hで(簡単に)
4		<ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬を上げる財源をどうするか考えるべきで、例えばふるさと納税を協力してもらえないアイデアなどを考えてそれらを財源などにあてる考えもあっていいのではないか。 ・議員報酬は上げるのは良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数も今のままで良いと思いますが。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・議員と住民の関係を見直した上で住民の声が議会に反映し町に届く流れが必要と感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算から考えた場合、報酬を大幅に引き上げるには、定数の見直しは必要と思う。 ・20年報酬が見直されていないことも問題だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算から考えた場合、報酬を大幅に引き上げるには、定数の見直しは必要と思う。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・見える化 ・地元の意見を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般職との兼ね合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・削減はやむを得ない 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な考え方のある中で、心あわせをするのは大変なことだと思いますがワン・チームで頑張ってくださいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の世の中、これでまかなうのは大変だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの人数が〇(マル)なのか、よくわかりません。 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・議会とは何をしようとするかは議会条例にあるので確認し町民に知らせる。その上でざかいとしての役目を果たす。 ・直近の課題を解決し、未来へ向けて今始めることを決める議会であって欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員は4年に1回無職になる。 ・議員はめんどくさい人 ・次の選挙資金くらいはたくわえて家庭を持てるくらいはどんな仕事でも出すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役目を考えれば町民を声を集められる数は必要。 ・田園地帯の矢巾町では広く声が集められるように声にならない声も聞こえてくる人数が欲しい。 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の活動状況が広報だけではよくわからない。 ・議案に賛成したか否かの〇(マル)だけでは議員の考えが伝わらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員として活動している時間が時間給(最低賃金)より低いことはないと思うが、きちんと数値を出して支払ってもらいたい。 ・上げることに反対しているのではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・減らしても議会の活動がはっきりと見えるか疑問だ。 	

矢巾町議会フォーラム：町民の意見サマリー

令和7年12月13日開催、参加者から寄せられた3つの主要テーマに関する意見の概観。

議員報酬について

報酬は「上げるべき」という
意見が多数



20年間見直されていない
現状に、多くの参加者が
疑問を呈しています。

なり手不足解消と
活動への専念に期待

生活を心配せず議員活動に専念でき
る報酬が必要との声が上がっています。



報酬アップの条件として
「活動の見える化」を
求める声も

財源については、ふるさと納税の活用
などのアイデアも出されました。

議員定数について

定数は「現状維持」が多数派



定数を減らすと、町民の
多様な声が議会に届きにく
くなるとの懸念が強いです。



報酬アップのための
定数削減には
賛否両論

財源確保の案として挙がる
一方、「目的が違う」との
反対意見もありました。

議会のあり方について

活動の「見える化」と
情報発信の強化を要望

広報誌だけでなく、SNSなども
活用して活動内容を分かりやすく
伝えてほしいとの意見です。



町民との対話の
機会を増やすべき

今回のようなフォーラムの継続
開催を望む声が多く寄せられま
した。

若い世代の関心を
促す工夫が必要

若者も参加しやすいポジティブな勧誘
やイベントを求める声がありました。



議会だよりの佐藤のコメントも

やはば 議会だより

235

2026.1.23

伊達市
矢巾町議会



町民と語る議会フォーラム
(関連記事…P18～19)

ズバリ町政を問う 一般質問12議員

多岐にわたる活発な議論を展開… 4～16

特集「矢巾町議会改革」

町民と語る議会フォーラム開催… 18～19

過去の議案書などは
町議会ホームページ
に掲載中



佐藤教授の講評

リラックスした雰囲気です語り合うワールドカフェ方式により、会場は次第に熱気に包まれ、町民と議員の垣根を越えた対話が実現しました。

特に20年間据え置かれていた議員報酬や定数について、参加者から「活動が見えるなら報酬増も必要」「多様な世代が参加できる環境を」といった、議会の未来を想う建設的なご意見が多く寄せられたことが印象的でした。これらは深刻な「なり手不足」を解消し、持続可能な議会を作るための極めて重要な視点です。

今回の改革は議員のためではなく、町民の声を町政に届ける機能を守るためのものです。会場で共有された生の声と熱意は、必ずや改革の確かな指針となるでしょう。

この対話を力に変え、矢巾町議会が新たな一歩を踏み出すことを心から期待します。

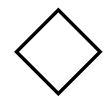
19 いわてやはば議会だより235号
令和8年1月23日発行

ご安心ください



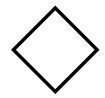
- ✓ 最後には発表ありません
- ✓ ファシリテーションのスキルは不要です

本日のお品書き



チェックイン

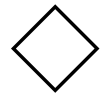
*ホテルにチェックインする様に、
研修に参加する今この気持ちを確認し合います。



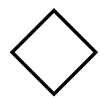
「SOUNDカード」の練習



「議会と生成AI」

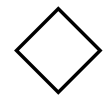


「対話する議会・議員」とは



【演習】SOUNDカード

- ・「いわき市議会のありたい姿」について
- ・「いわき市議会の議員定数」について



チェックアウト

*ホテルのチェックアウトの様に、
研修での気付きを振り返ります。

チェックイン

- ・「今の正直な気持ち」
 - ・「気になっていること」
- をありのままに、
一人1分程度でお話し
下さい。



カードを2～3枚
手に取って見て下さい



「対話」の補助ツール「SOUNDカード™」

場の活性化を促す「言える化ツール」
どんな話題でも、メンバーでも「対話」が可能

SOUNDカード™の基本動作



カードを並べて選ぶ



選んだカードについて話す

「対話」の補助ツール「SOUND カード™」



Step1 Status

現状認識の共有

気になっていることや
問題意識を共有して
話しやすい場を創ろう

Step2 Outcome

ビジョンの共創

いきなり解決に走らず、
「本当にありたい姿」
「何を大切にするか」
を話そう

Step3 Understand

課題の深掘り

「ありたい姿」に辿り
つけるためのカギを
見つけよう

Step4 Negative Check

懸念事項の確認

進むことの「気掛かり」や抵抗を洗い出し
ておこう。

Step5 Drive

具体策の決定

「先ずやってみよう」
と思えることを決めよう。

「SOUNDカード™」には「問い」が書かれています

「SOUNDカード™」には、それぞれ違った「問い」が書かれています。

The image displays four SOUND cards arranged in a 2x2 grid. Each card features a green speech bubble with a question and a status label. The cards are numbered '2' in a grey circle on the left side.

- Top-Left Card:** Status: B. 意見 / 主張. Question: このアジェンダに関連してあなたが常々、思っていることは何ですか？ (Regarding this agenda, what are you often thinking about?). Category: 内的・個人 (Internal/Personal).
- Top-Right Card:** Status: A. ニュース / エポック. Question: このアジェンダに関連してあなたが気がかりに感じている事象 / 出来事は何ですか？ (Regarding this agenda, what phenomenon / event are you worried about?). Category: 外的・集団 (External/Group).
- Bottom-Left Card:** Status: A. ニュース / エポック. Question: このアジェンダに関連して最近、体験した / 目撃した心温まる場面は何ですか？ (Regarding this agenda, what recent experience / witnessed heartwarming scene is it?). Category: 外的・個人 (External/Personal).
- Bottom-Right Card:** Status: B. 意見 / 主張. Question: このアジェンダに関連して誰にも言わないでいる秘めた想いは何ですか？ (Regarding this agenda, what secret thought are you not telling anyone?). Category: 内的・個人 (Internal/Personal).

〈アジェンダ〉



「最近の仕事以外の 私のお話し」 について


アジェンダ 「最近の仕事以外の私の話し」について

- アジェンダについて話したいと思う「問い」を立って各自1枚ずつ選び、選んだら座る。
- 発表の順番を決める。
- 話し手は、先ず「問い」を読み上げ、その後、**1分程度**で「問い」に対する答えを述べる。
- 聴き手は、静かに耳を傾けて、**話を聴く**。
- 一巡したら、**自由に浮かび上がったことを「対話」**する。

「SOUND カード™」の効果



✓ **全員が話せる**



✓ **じっくり話を聴ける**



✓ **「問い」がきっかけで
深い「対話」が始まる**



「ファシリテーションの民主化」

**SOUNDカードで、誰もがファシリテーション！
「ファシリテーションの民主化」実現！**



「議会と生成AI」

「議会と生成AI」

生成AI どのくらい使ってますか？

* NotebookLM

あなたの活用頻度は？



① 毎日触っている



③ 1週間に1回は触っている



② 3日に1回は触っている



④ ほとんど触っていない



こんなことも出来ます

* ChatGPT (GPTImage1.5)



青森市中心部の商業ビルに熊が侵入「叫ぶ声と衝突音が聞こえた」 市内初の緊急銃猟で駆除

2026年5月15日 20:13 | 2026年5月16日 13:01 更新 [無料]

社会 青森 熊 オンライン先行



複合商業ビル入り口に箱わなを設置する市職員ら= 15日午後4時35分ごろ、青森市長島1丁目

15日午後3時半ごろ、青森市長島1丁目の複合商業ビル「クロスタワー ア・ベイ」にクマが出没したと青森署に通報があった。1頭がパン店などが入る1階にとどまっていたが午後6時10分ごろ、同市で初めての緊急銃猟で駆除された。



市によると、体長約110センチで推定3歳の雄のツキノワグマ。ビルは県庁の東約400メートルで、官庁や飲食店などが立ち並ぶ市中心部の国道沿い。周囲には規制線が張られ、市職員や猟友会が午後4時50分ごろ、ビルの正面と裏口の2カ所に箱わなを設置。午後5時40分ごろ商業施設エリアの利用者全員の避難を終えた。

「熊問題」について生成AIに考えてもらいました

* ChatGPT

熊問題について、登場人物を6人設定（農家、主婦、自治体担当者、猟友会メンバー、研究者、擬人化した熊）し、対話をしてください。



【ビジョン】

「人と熊が無用に出会わない
里山を再生し、安全と自然
が両立する地域」

【アクションプラン】

- ① 緊急対応：出没時の即時対応と住民の安全確保
- ② 被害軽減：電気柵・集落周辺の環境管理の強化
- ③ 里山再生：森林整備・放棄地管理・山のエサ資源回復
- ④ ハンター支援：若手育成・捕獲体制の持続性
- ⑤ 科学的データに基づく地域管理
- ⑥ 地域ぐるみの“里山協議会”の設置（自治体＋住民＋農家＋研究者＋狩猟者）

「生成AI」が地方議会にもたらす 3つの未来シナリオ

シナリオ 1



生成AIを使って議員の質問作りや調査の効率を上げるだけではなく、住民の声を深く理解し、より良い政策を作るために活用される。

- 議員がAIを使って、膨大な資料を整理したり、論点を分かりやすくまとめる。
- 市民の意見をAIで分析し、議会で取りあげるべきテーマを見つけ出す。
- 会議録等の記録をAIが要約し、誰もが読みやすくなることで、議会の「見える」が進む。
- AIと議員、住民が一緒に考えることで、「自分たちの町をどうしたいか」という根本的な問いに向き合う。

シナリオ 2



生成AIを便利な道具としてだけ使い、スピードや効率ばかり重視してしまうと、議員の仕事が、「AIが作った原稿を読む」だけになり、住民の声が置き去りになる。

- 一部の議員だけがAIを使いこなし、他の議員との「情報格差」が広がる。
- 質問の中身が浅くなり、「なぜそれを聞くのか？」という本質的な問いがなくなる。
- 市民との対話が減り、「議会は自分たちと関係ない」と思われるようになる。
- 議会全体が「AIで作った書類を読み上げる場」になってしまい、信頼を失う。

シナリオ 3



「議会の伝統が大事だ」、「AIなんて信用できない」として、生成AIを使わずに運営を続けた結果、社会全体が変化の中で、議会だけが時代に取り残される。

- 他の議会がAIで効率化、政策立案が実践される中、非効率が続く。
- 議会のやり方が古臭く感じられ、市民の関心からズレていく。
- 議会の負担が減らず、議員のなり手不足が進む。
- 議会をどう変えるかの議論が起きず、マンネリ化、形骸化が進む。

「シナリオ1」

生成AIを使って議員の質問作りや調査の効率を上げるだけではなく、住民の声を深く理解し、より良い政策を作るために活用される。



「シナリオ2」

生成AIを便利な道具としてだけ使い、スピードや効率ばかり重視してしまうと、議員の仕事が、「AIが作った原稿を読む」だけになり、住民の声が置き去りになる。



「シナリオ3」

「議会の伝統が大事だ」、「AIなんて信用できない」として、生成AIを使わずに運営を続けた結果、社会全体が変化の中で、議会だけが時代に取り残される。



「生成AI」時代の議員に求められる3つの役割

* NotebookLM

1. 市民の声を聴く

ネット上にはない一次情報に直接接触れ、生の意見を収集する。



2. 課題を設定する

聴取した意見を基に、取り組むべき政策課題の優先順位を決定する。



3. 決断し、実現する

最適な解決策を決定し、責任を持ってその実現を推進する。



〈アジェンダ〉



「生成AI」 について

アジェンダ 「生成AI」について

- アジェンダについて話したいと思う「問い」を立って各自1枚ずつ選び、選んだら座る。
- 発表の順番を決める。
- 話し手は、先ず「問い」を読み上げ、その後、**1分程度**で「問い」に対する答えを述べる。
- 聴き手は、静かに耳を傾けて、**話を聴く**。
- 一巡したら、**自由に浮かび上がったことを「対話」**する。

「生成AI」活用における現実的な役割分担

得意な人・議会事務局職員

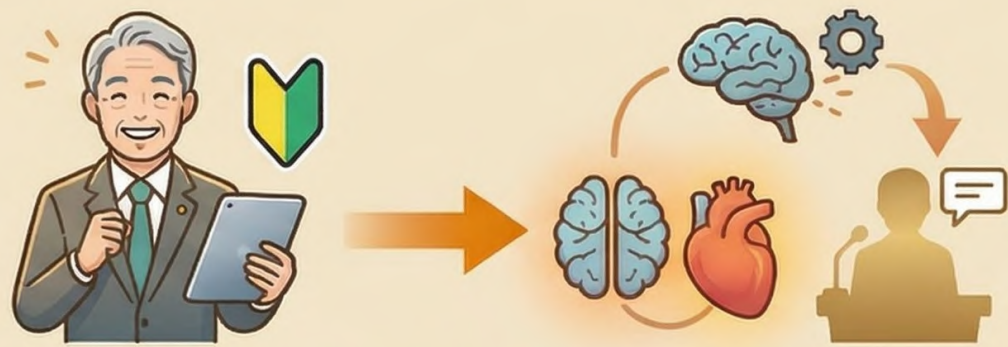


得意を活かす

議論を支える役割

AIを駆使した迅速なデータ分析・資料作成

生成AIが苦手な議員



出来る範囲で

反対しないことも貢献

人としての判断・経験・価値観で議論に参加。活用を妨げない。

役割分担

この協働関係が、議会全体の意思決定の質を高める

議会全体の質の向上

